

# 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月4日

上場会社名 シノブフーズ株式会社  
 コード番号 2903 URL <http://www.shinobufoods.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 崇志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 加藤 健二  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日 配当支払開始予定日 未定

上場取引所 大

TEL 06-6474-1116

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	9,412	7.2	259	98.2	238	128.8	143	142.8
20年3月期第1四半期	8,779	△2.8	130	△59.0	104	△63.7	59	△63.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	8.76	—
20年3月期第1四半期	3.60	3.59

(注) 当第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、当四半期末にて潜在株式が無くなったため記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	21,107	8,758	41.5	535.33
20年3月期	20,814	8,684	41.7	530.78

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 8,758百万円 20年3月期 8,684百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	3.50	—	3.50	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	18,700	4.0	550	21.7	500	25.8	300	44.7	18.34
通期	36,500	2.2	1,000	7.2	900	7.9	550	8.9	33.62

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 17,170,964株 20年3月期 17,170,964株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 810,336株 20年3月期 810,005株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 16,360,737株 20年3月期第1四半期 16,395,990株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報にもとづき作成したものであり、予想につきましてはさまざまな不確定要素を内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油をはじめとする原材料価格の高騰やサプライム問題に起因する金融市場の混乱などの不安要因を抱えるとともに、生活必需品の相次ぐ値上げにより個人消費にも翳りが見られるなど、景気の先行きには不透明感が増しております。

食品業界におきましても、産地や賞味期限の偽装問題などが多発する中、消費者の「食の安心、安全」への要求が一層高まるとともに、食材や包装資材などのコストの上昇や、人手不足、人材難が広がるなど、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

こうした状況下、当社グループは消費者ニーズに直結する商品の開発に注力するとともに、消費者への価格転嫁を可能な限り避けるため徹底したコストダウンを進めてまいりました。グループ一丸となったこれらの取組みが、いくつかの新商品開発において結実し、ご好評をいただいております。

この結果、当第1四半期の連結売上高は、94億1千2百万円(前年同期比7.2%増)となりました。

また、利益面におきましては、営業利益は259百万円(前年同期比98.2%増)、経常利益は238百万円(前年同期比128.8%増)、四半期純利益は143百万円(前年同期比142.8%増)といずれも前年同期を大幅に上回りました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態につきましては、総資産は、現預金の増加を主因に前連結会計年度末と比較して2億9千2百万円増加し、211億7百万円となりました。また、純資産は、当期純利益143百万円を計上する一方で、配当金の支払81百万円等により前連結会計年度末と比較して74百万円の増加となりました。

当第1四半期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ2億6千9百万円増加して3億3千2百万円の収入となりました。これは、主として税金等調整前四半期純利益2億3千8百万円および減価償却費1億6千8百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1億8百万円増加して7千6百万円の支出となりました。これは、主として設備投資5千1百万円の支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ3億9千2百万円減少して4千6百万円の収入となりました。これは、主として借入れの減少によるものであります。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ3億2百万円の増加し22億2千1百万円となりとなりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しにつきましては、上述のとおり厳しい状況ではありますが、当第1四半期の業績が概ね当初の計画に沿った水準の収益を計上しており、事業環境につきましても想定範囲内であることから、平成20年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ② 固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ③ 法人税等および繰延税金資産の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法の変更等

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成19年3月14日企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会平成19年3月14日企業会計基準適用指針第14号)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については評価額の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,221	1,919
売掛金	3,579	3,552
商品	4	3
製品	20	20
原材料	178	171
その他	737	631
貸倒引当金	△ 16	△ 16
流動資産合計	6,724	6,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,679	3,707
土地	6,342	6,342
その他	1,317	1,351
有形固定資産合計	11,339	11,401
無形固定資産	100	88
投資その他の資産		
投資その他の資産	2,992	3,085
貸倒引当金	△ 50	△ 44
投資その他の資産合計	2,942	3,040
固定資産合計	14,382	14,531
資産合計	21,107	20,814

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,605	2,494
短期借入金	4,136	3,736
未払法人税等	19	45
賞与引当金	124	242
その他	1,761	1,622
流動負債合計	8,648	8,140
固定負債		
長期借入金	2,872	3,144
退職給付引当金	307	309
役員退職慰労引当金	410	423
その他	110	113
固定負債合計	3,700	3,990
負債合計	12,348	12,130
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,693	4,693
資本剰余金	4,213	4,213
利益剰余金	△ 65	△ 127
自己株式	△ 145	△ 145
株主資本合計	8,695	8,634
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62	49
評価・換算差額等合計	62	49
純資産合計	8,758	8,684
負債純資産合計	21,107	20,814

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	9,412
売上原価	7,394
売上総利益	2,017
販売費及び一般管理費	1,758
営業利益	259
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	3
受取賃貸料	49
その他	6
営業外収益合計	58
営業外費用	
支払利息	28
賃貸物件関連費用	49
その他	2
営業外費用合計	79
経常利益	238
税金等調整前四半期純利益	238
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	84
法人税等合計	94
四半期純利益	143

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間	
(自 平成20年4月1日	
至 平成20年6月30日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	238
減価償却費	168
貸倒引当金の増加額	5
賞与引当金の減少額	△ 117
退職給付引当金の減少額	△ 1
役員退職慰労引当金の減少額	△ 13
受取利息及び受取配当金	△ 3
支払利息	28
売上債権の増加額	△ 27
たな卸資産の増加額	△ 6
仕入債務の増加額	111
未払消費税等の減少額	△ 30
その他の資産の増加額	△ 83
その他の負債の増加額	110
小計	377
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△ 24
法人税等の支払額	△ 24
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>332</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△ 51
無形固定資産の取得による支出	△ 21
投資有価証券の取得による支出	△ 0
投資有価証券の売却による収入	0
貸付金の回収による収入	0
その他の投資等による支出	△ 3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 76</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	1,000
短期借入金の返済による支出	△ 600
長期借入金の返済による支出	△ 271
自己株式の取得による支出	△ 0
配当金の支払額	△ 81
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>46</b>
現金及び現金同等物の増加額	302
現金及び現金同等物の期首残高	1,919
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,221

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至平成20年6月30日)  
該当事項はありません。

[参考資料]  
 (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年6月30日まで)
		金 額
I 売上高		8,779
II 売上原価		6,940
売上総利益		1,838
III 販売費及び一般管理費		1,707
営業利益		130
IV 営業外収益		57
1 受取利息配当金		1
2 受取賃貸料		48
3 その他		7
V 営業外費用		83
1 支払利息		32
2 賃貸物件関連費用		49
3 その他		1
経常利益		104
VI 特別損失		0
役員退職慰労金		0
税金等調整前四半期純利益		103
税金費用		44
四半期純利益		59

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



[参考資料]

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期連結累計期間 (平成19年4月1日から 平成19年6月30日まで)	
		金	額
<b>I. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 税金等調整前四半期純利益			103
2 減価償却費			186
3 賞与引当金の減少額	△		109
4 退職給付引当金の減少額	△		3
5 役員退職慰労引当金の増加額			5
6 受取利息及び受取配当金	△		1
7 支払利息			32
8 売上債権の減少額			40
9 たな卸資産の減少額			1
10 仕入債務の減少額	△		81
11 未払消費税等減少額	△		11
12 その他の資産の増加額	△		118
13 その他の負債の増加額			79
小計			125
14 利息及び配当金の受取額			1
15 利息の支払額	△		28
16 法人税等の支払額	△		35
営業活動によるキャッシュ・フロー			62
<b>II. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 有形固定資産の取得による支出	△		182
2 投資有価証券の取得による支出	△		0
3 その他の投資等による支出	△		1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△		185
<b>III. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
1 短期借入れによる収入			2,000
2 短期借入金の返済による支出	△		1,225
3 長期借入金の返済による支出	△		253
4 自己株式の取得による支出	△		0
5 配当金の支払額	△		82
財務活動によるキャッシュ・フロー			439
IV. 現金及び現金同等物の増加額			316
V. 現金及び現金同等物の期首残高			2,360
VI. 現金及び現金同等物の四半期末残高			2,676

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。